

平成22年度 第1回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成22年5月20日(木) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 委員 春成 保(公認会計士) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授) 委員 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授)		
次第	1 開会 2 審議 ① 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等 (1)平成21年度発注工事について (2)発注工事に係る平均落札率について (3)工事成績評点について (4)入札参加資格停止等の運用状況について (5)談合情報への対応状況について ② 委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等 (1)平成21年度発注業務について (2)委託業務に係る平均落札率について (3)業務成績評点について ③ 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯 ④ その他 3 閉会		
審査対象期間	平成22年1月1日～平成22年3月31日		
抽出案件	8件		
工事	制約付き一般競争入札	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度 西部水質管理センター耐水化工事 ・玉川町・武蔵町地内ガス管及び配水管改良工事 ・金沢市立鳴和中学校校舎耐震補強工事第1期 ・平成21年度 高度雨水情報システム構築工事
	随意契約	1件	・平成21年度 片町2丁目地内(68工区)管渠築造工事
委託	公募型指名競争入札	1件	・不動寺橋耐震補強設計業務委託
	指名競争入札	1件	・平成21年度 小橋ポンプ場屋外受変電設備等改築工事実施設計業務委託
	随意契約	1件	・鈴木大拙館(仮称)建物外構及び建物周辺緑地実施設計業務委託
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	平成21年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
 金沢市総務局監理課
 電話:076-220-2101

総 括	
<p>各委員からの意見は、概ね以下のとおりであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の入札制度改正は適切である。今後とも経済状況等を見ながら、迅速な対策を講じること。 2. 優良な工事を行った業者へのインセンティブが働くようにという観点から、今後も総合評価方式を拡大していくこと。 3. 落札率に一喜一憂することなく、適正な積算及び履行を行える契約体制のさらなる整備に努めること。 <p>なお、意見の詳細は次のとおり。</p>	
意 見 ・ 質 問	回 答
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>○ 低入札価格調査制度における失格基準及び調査基準価格の設定範囲について確認したい。</p> <p>○ 最低制限価格等の上限を引き上げたことは、「財政難の中で逆行している、平均落札率が上昇していく傾向になるのではないか。」という意見と「地元企業に対する経済対策の一助になるのではないか。」という考えがあるが、その点については、どのように考えているのか。</p> <p>○ 金沢市では8千万円未満の工事について、工事選定基準の4項目該当又は新工法等による工事を総合評価方式対象としているが、これは一般競争入札の工事を全件総合評価対象とする国や県の運用と異なるが、どのように考えているのか。</p> <p>2 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯</p> <p>平成21年度 西部水質管理センター耐水化工事</p> <p>○ 特に意見なし</p> <p>玉川町・武蔵町地内ガス管及び配水管改良工事</p> <p>○ どの工事を、どの種類の総合評価案件にするか等の基準はあるのか。</p> <p>金沢市立鳴和中学校校舎耐震補強工事（1期）</p> <p>○ 共同企業体の構成に基準はあるか。</p>	<p>・ 平成22年4月から数値的判断基準の一般管理費の割合を予定価格の30%から50%に引き上げた。また、このことにより調査基準価格の上限を予定価格の95%とした。</p> <p>・ 現在、落札率が低い状況が続いており、地元企業に対する経済対策の側面もあるが、市としては公共工事の品質確保という大きな課題もある。今回の改正はあくまでも緊急経済措置的な対応であり、今後の動向を注視しながら制度の在り方を検討していきたい。</p> <p>・ 総合評価方式は価格と工事品質の両面を確保するものである。現在は試行段階であり、今回の改正は対象となる工事の基準を公表して、対象工事の選定の透明性を高めたものである。国や県は一般競争入札を総合評価方式により実施しているが、中核市レベルではまだ試行段階であるため、今後も制度の見直しを行っていく中で、内容について、さらに検討していきたい。</p> <p>・ 21年度は、個別に総合評価方式が適切と判断した工事を選定していたが、今年度は工事選定基準を設けて実施している。</p> <p>・ 共同企業体については、工事内容などにより案件ごとに構成内容を決定する。</p>

意見・質問	回答
<p>平成21年度 高度雨水情報システム構築工事</p> <p>○ システムの維持管理体制等はどうになっているのか。</p>	<p>・ 本システムは既存のいくつかあるシステムを一元管理するためのネットワークを構築するものである。各システムについては維持管理はこれまでどおり担当部課での対応となる。</p>
<p>平成21年度 片町2丁目地内（68工区）管渠築造工事</p> <p>○ 特に意見なし</p>	
<p>不動寺橋耐震補強設計業務委託</p> <p>○ 落札率が高い原因は何か。</p>	<p>・ 業務委託は予定価格を事前公表していないことから、落札率については、あくまでも入札の結果として捉えている。</p>
<p>平成21年度 小橋ポンプ場屋外受変電設備等改築工事実施設計業務委託</p> <p>○ 設計積算額の確認体制はどうにしているのか。</p>	<p>・ 発注課の担当技術職員が設計し、他の技術職員が検算を行ったうえ、課内で決裁をしている。その後、この設計について検査員が検査を行っている。</p>
<p>鈴木大拙館(仮称)建物外構及び建物周辺緑地実施設計業務委託</p> <p>○ 見積合わせは何回で採用になったか。</p>	<p>・ 1回で採用である。</p>